

現場ですぐに役立つ保育スキル講習会 全2回 (9/26)

障がいのある子ども（運動、言語、認識、コミュニケーション障がい児）の

秋 新講座

おもちゃによる個別の発達支援の方法

【講座の主なる趣旨】オランダの国際幼児教育会議で一人の講師が話された言葉です。費用：10,000円

「保育がこれほど複雑になってきた今日、従来の保育の勉強だけでは到底対応できない時代。それ故に、

定員：25名

これからは Pedagogy（ペダゴギー）と呼ばれる「保育方法論」が必要です。Pedagogy の語源はギリシャ語で「子どもを導く」という意味だそうですが、現代の Education(教育)のように、教える、伝達する教育とは異なり、具体的な保育スキルを持って子どもを導く時代です。」

オランダやドイツでは保育者を「保育士」「子ども教諭」「先生」という呼び名から「ペダゴギスト」と呼ばれる専門性のある幼児教育者の育成に力を入れています。多様で実践的な保育スキルを学んでください。



【講師紹介】

西村 久容（ほいくえん ももの家 園長）

・ドイツのシュタイナー教育の実践活動では長年のキャリアがあり、優れた音声でわらべ歌を指導されます。彼女がペンタシロフォンを使って子どもの言葉を引き出すスキルは素晴らしいものです。

前田 英彦（絵本と木のおもちゃの店 キッズいわき ぱふ）

・子どものおもちゃ遊びの指導をする熟練したスキルを持っておられます。また、長年のおもちゃ販売を通して、保育で必要なおもちゃの選び方も話していただきます。

辻井 正（NPO法人国際臨床保育研究所 所長）

・長年の現場経験と理論的研究から、21世紀の幼児教育が求めるアクティブ・ラーニング（オランダのピラミーデ）普及に力を入れています。

勝山 ゆむ（NPO法人国際臨床保育研究所 おもちゃセラピスト）

・米国TAG TOY創始者メストネック博士との親交も熱く、セラピー教具の指導方法を博士から引き継いでいます。

講座シラバス(内容) 13:00～17:30 (休憩を含む) 場所:NPO法人国際臨床保育研究所

第1回 9/26 (土)

①【講師】西村 久容 ～子どもを静かにさせるサークルタイムの語りかけ～

ペンタトニックシロフォンを使って子どもの注意を引きつけながら子どもから言葉を引き出します。にじみ絵では三原色を基本とし、何度も水にぬらした画用紙の上から色を重ね刷りします。驚くような美しく個性的な色彩が展開されます。たっぷりと時間を取って練習していただきます。(準備物有り)

②【講師】辻井 正 ～子どもに声が届いていますか?～

保育者の声が子どもの耳を育てる秘密です。腹式呼吸の練習から始めて、アナウンサーが練習する早口言葉の訓練、そして互いが向かい合っ
て、相手の体に声を届ける練習を行ないます。

第2回 10/24 (土)

①【講師】前田 英彦 ～おもちゃの選び方と遊び方～

一般的に保育者はおもちゃの選び方に無関心だと言われています。発達的に、また個性的に子どもが遊びに夢中になるおもちゃを与えることは
大切です。注意深く子どもの遊びを観察して、正しい使い方へ誘導することで子どもはおもちゃから多くの好奇心や指先機能を学び取ります。

②【講師】勝山 ゆむ ～特別支援の子どもに与えてあげたいセラピー教具～

これまでは知的障がいの子どもの脳は一生変化しないと考えられていましたが、米国の科学雑誌PNASにて、ワーキングメモリーを活発に使う
遊びから、知的障がい児のIQが改善されたと報告されています。メストネック博士が実演する豊富なビデオ解説と共に講義を展開します。

受講者名: _____ ご勤務先: _____

ご連絡先: 〒 _____ TEL _____

▽お申し込みいただきました方には後日、当研究所までのアクセスマップをお送りいたします。講座当日、研究所にて講座費用をお支払いください。

上記をご記入の上、**06-6773-3008** まで FAX をお願いいたします。



NPO法人 国際臨床保育研究所
Kid's International Clinical Childcare Center

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-4-11 KIMURAビル5階
電話: 06-6773-3348 FAX: 06-6773-3008
e-mail: info@kiccc.jp HP: www.kiccc.jp